



左から：浦戸の百合 187.0 x 190.0 cm、りんごのおしゃべり 190.0 x 293 cm、まぎーあーす 189.0 x 190.0 cm、お花の夢 190.0 x 296 cm / 2016 acrylic on canvas ©Ellie Omiya

代官山ヒルサイドテラス ヒルサイドフォーラム

東京都渋谷区猿楽町18-8 ヒルサイドテラスF棟1階

期間：2017年1月17日(火)～22日(日)

時間：11:00～19:00 ※入館は18:30まで

休館日：会期中無休

入場料：無料

主催：小山登美夫ギャラリー、小山藝術計画

協力：ヒルサイドテラス、gallery ON THE HILL

Daikanyama HILLSIDE TERRACE/ HILLSIDE FORUM

Hillside Terrace Building F, 18-8 Sarugaku-cho, Shibuya-ku, Tokyo

Dates: January 17(Tue)–22(Sun), 2017

Hours: 11:00–19:00 *Last Entry 18:30

Open everyday during the exhibition

Admission free

記念イベント

1月21日(土) 18:00～

上映会「大宮エリードキュメンタリー、私が絵を描くわけ」

トークショー「十和田からの手紙」

大宮エリー×児島やよい氏(十和田市現代美術館副館長)

参加無料

アクセス：東急東横線「代官山駅」下車
徒歩3分



お問い合わせ：小山登美夫ギャラリー

03-6459-4030 / info@tomio koyama gallery.com / www.koyamaartprojects.com

展覧会について

2016年5月から9月まで

十和田市現代美術館にて展覧を開催した大宮エリーが、

十和田の地で描いた最新作「十和田の冬」をみなさんに見てもらいたくて、
たった1週間の展覧会を開きます。

青森の森のエネルギーに深く感動した彼女が、自然への畏敬の念を抱きながら、
木々の中に潜むパワーやきらめきを感じ取り、
迫力のある感動的な作品に仕上げました。

見る人の気持ちを、すがすがしく、
ときに、凛とさせる巨大絵をぜひごらんください。

大自然の中に身を置いているような、
しんとした気持ちになると思います。

「冬の木々には、春、夏、秋、へ向かっていくすべてのエネルギーが詰まっている
気がする。だから描いた。」(本人談)

実際の森よりも時に強く、時に、微細な木のエネルギーを封じ込めた絵から
新年のスタートに、新しく始める始まる、木々のエネルギーを
感じ取りにきていただければ幸いです。

その他、今回は、大宮の「十和田の冬」制作風景を初公開。

坂本龍一氏の音楽をループで流しながら、
自然のエネルギーとつながってひたむきに、
シャーマン的に一気に書き上げる貴重な映像を公開します。

本展では、「十和田の冬」のほか、

おなじく十和田で描いた最新作、「りんごの団らん」「ゆめぐちの森」

昨年夏に宮城県塩釜市の浦戸諸島で描いた「まぎーあーす」「浦戸の白ユリ」
も展示いたします。

作家情報 www.koyamaartprojects.com/artists/ellie-omiya/

Artist info www.koyamaartprojects.com/en/artists/ellie-omiya/



撮影：網中健太

大宮エリー

Ellie Omiya

作家 / 脚本家 / 映画監督 / 演出家 / 美術家 / 画家
Writer, Scriptwriter, Film Director
Stage Director, Artist, Painter

1975年大阪生まれ、東京大学薬学部卒業。広告代理店勤務を経て、日常を綴ったエッセイ集を書いて人気を博す。作家業の傍ら、ラジオのパーソナリティーや、テレビ番組の司会などもこなす。映画を撮ったり、舞台の作演出をしたり、活動はジャンルレスであるが、本人曰く、やっていることはひとつだという。2012年からは、来場者が参加して作品が完成するという特徴を持つ、体験型の個展をはじめ。その個展は物語になっており主人公は来場者それぞれとなる。「立ちはだかるドア」「心の箱」「言えなかったメッセージボトル」など、8つの作品で構成された、「思いを伝えるということ展」(2012-13)では、心がすっきりした、涙が出たという感想が多く、この個展の反響で2013年は、「赤い道」「黄色い道」「砂漠の道」などの道を歩いてもらうことで、生きるとは何かをそれぞれがそれぞれに問いかける個展「生きているということ展」(2013)を発表。また、少くプラネタリウムという設定で、星をかきわけたり天の川に飛び込んだりする「星空からのメッセージ展」(2013-14)を発表。絵画制作は、2012年に上野にてライブドローイングした作品「お祝いの調べ：直島」がきっかけとなって始まり、いまま続行している。その後、2015年に代官山ヒルサイドテラスにて個展「emotional journey」、2016年には美術館で初めての個展「シンシアリー・ユアーズ—親愛なるあなたの大宮エリーより」を十和田市現代美術館で開催する。十和田では、美術館の以外の商店街にも作品を展開した。2017年4月には、福井の金津創作の森で個展を開催。

Born in Osaka, 1975. Graduated from the University of Tokyo, Faculty of Pharmaceutical Sciences. After working at an advertising agency, she achieved popularity for her essays about daily life. Besides her career as a writer, she works as a radio personality as well as a host of TV programs. Although her activities go beyond the border as she also shoots films, writes and directs stage plays, she views them as one creative pursuit. From 2012, she started holding interactive solo exhibitions in which works complete with the viewers' participation. These solo exhibitions present stories where each viewer becomes a main character. The exhibition "To Convey Emotions" (2012-13) consisted of 8 stories, such as "Door Stands in the Way", "Box of Heart" and "Message Bottles That Were Never Delivered" which refreshed and brought tears to viewers. After its public response, she held a solo show "To Be Alive" in 2013 where viewers were invited to reflect on what is to be alive by walking through "Red Road", "Yellow Road" and "Desert Road". She also presented "Message from the Starry Sky" (2013-14) in which people could stroll through the stars and jump into the milky way in the walking planetarium. She started to paint since her live drawing "Celebration Melody: Naoshima" in Ueno in 2012, and continues to explore the medium of painting. She had a solo exhibition "emotional journey" at Daikanyama Hillside Terrace in 2015, and her first museum solo exhibition "Sincerely Yours, Ellie Omiya" at Towada Art Center in 2016. In Towada she also presented work outside the museum in the shopping arcade. Her upcoming solo exhibition is scheduled to be held at Kanazawa Forest of Creation in Fukui in April 2017.

TOMIO
KOYAMA
GALLERY

HILLSIDE TERRACE

gallery
ON THE HILL